

1. 令和3年度事業内容等

No.	37	事業名	区民まつりの開催	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	東西に広い中川区において、西・中央・東地区の公園を巡回して開催し、地域の歴史・文化の発信やスポーツの振興など、地域の特色に合わせた企画を充実させることで、区民のふれあいや交流の推進と、中川区に対する誇りや愛着の醸成・高揚を図る。				
課題	3会場、それぞれの地域だけの区民まつりとならないよう、3つの地域をつなげ、区全体で盛り上がる企画をする必要がある。 適切な新型コロナウイルス感染防止対策をとったうえで、事業の趣旨の実現に向けてコロナ禍に対応した形で実施する必要がある。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区民まつりの開催 感染対策 [実施時期] 令和3年10月24日(日) [場 所] 富田公園 [内 容] ①地域特色事業 富田地区の歴史的な街並みや豊かな自然を生かし、伝統的なまつりや都市農業の魅力伝える企画を実施する。 ②継続事業 ステージイベントの他、大人から子どもまで楽しめる各種ゲームや体験ブース、模擬店などを実施する。 実施にあたっては、会場内で密にならない配置や、飲食の提供中止も含めた提供方法を講ずる。また、感染拡大の状況によってはICTの活用も含め、非集合型、非参加型の形態での実施に切り替えることができるよう検討する。 				
計画目標	区民まつりの開催 1回				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：—)

課題	中川区は東西に広い地形であり、西・中央・東地区の公園を3年周期で巡回し、区民まつりを開催しているが、それぞれの地区の特色に合わせた企画を充実させていく必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	区民まつりの開催 1回
実績	区民まつりの開催 0回
総括	令和2年7月時点で、開催予定である10月の感染状況や安全対策に見通しが立たないため、7月25日の区民実行委員会総会において中止を決定した。 今後は感染対策の徹底と、感染状況に応じて開催方法の変更も含めて、コロナ禍でも開催できるよう企画する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	38	事業名	スポーツ・生涯学習の推進	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	スポーツ推進委員、体育協会、各種スポーツ関係団体と協力したスポーツ大会や美術展、いけ花展などの文化活動を通じて、心身ともに健康で明るい生活を築き、広く区民に参加していただくことにより、区民のふれあいと交流の推進を図る。				
課題	参加者の減少と高齢化がすすんできているため、多くの方に安心して参加していただく方策を検討する必要がある。				
事業内容	<p>1 スポーツ大会の開催 感染対策 [実施時期] 令和3年4月～令和4年3月 [場 所] 市内各種スポーツ施設 [内 容] スポーツ大会の開催 参加者は事前予約制とし、当日記入したチェックシートを会場に持参する等の新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をした上で行う。また、式典・来賓・参加者以外の観客は可能な限り縮小し、密をさけ、大会の時間を短縮することにより競技に集中できる体制とする。</p> <p>2 区民美術展の開催 感染対策 [実施時期] 令和3年10月 [場 所] 区役所講堂 [内 容] 区民の制作した美術作品の展示と入選作の選考 来場者の体温チェックを行い、氏名・連絡先についても確認する。また、来場者が多数の場合は入場制限を行う。なお、感染拡大の状況により、会場での展示が困難な場合は、選考会のみ行い、入選作を広報なごや・中川区ウェブサイトで発表する。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会の開催 15回 ・区民美術展の開催 1回 				

2. 令和2年度の実施結果 (進ちよく状況：☆)

課題	参加者数の減少と高齢化が進んできているため、多くの方に参加していただく方策を検討する必要がある。				
実施結果	<p>1 区スポーツ祭の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 (市民スポーツ祭についても中止)</p> <p>2 区民美術展の開催 区役所講堂での展示については中止した。代替として選考会を行い、入選作について中川区ウェブサイトおよび広報なごやにて掲載した。 (入選作の一部は市民美術展へ出展)</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・区スポーツ祭の開催 1回 ・区民美術展の開催 1回 				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・区スポーツ祭の開催 0回 ・区民美術展の開催 0回(代替あり) 				
総括	観戦者の制限、来賓の縮小などにより参加者総数の縮小を図るとともに大会開催時間の短縮を図るなど、今後は、感染対策の徹底と感染状況に応じた開催方法の検討も含めて、コロナ禍でも開催できるよう検討する必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	39	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～	区分	新規
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	土木事務所		
趣 旨	前田利家公ゆかりの地を巡る犬千代ルートにある打出街園の路面整備に合わせ利家公の魅力を発信するとともに、区民の憩いの場、新たなスポットとなるよう整備とイベントを実施することで、中川区に対する誇りや愛着の醸成・高揚を図る。				
課 題	土木事務所と綿密な連携をとり、事業の方向性について共有を図ることで、一体となって事業を進める必要がある。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 「前田利家公出世の道(仮称)」の整備 中川土木事務所による、打出街園の舗装整備、新たな植栽設置後、前田利家公の出世を学べる犬千代ルートの新たなスポットとして整備する。 「前田利家公出世の道(仮称)」の愛称公募 区民が愛着を持てる場所づくりとするため、整備されたプロムナードの愛称の区民公募を実施。 「前田利家オリジナル商品取扱店」の拡充 一柳通商店街の加盟店舗をはじめ、打出街園周辺の店舗への「前田利家オリジナル商品取扱店等登録制度」の周知と参加の促進を図る。 「前田利家公出世の道(仮称)」の開通式 感染対策 一柳通商店街との協働による開通イベントを実施。 [実施時期] 令和4年2月下旬(仮) [場 所] 打出街園 [内 容] おもてなし武将隊等によるセレモニー 前田利家オリジナル商品のPR など 				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> 前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 5店舗 開通イベントの実施 1回 				

2. 令和2年度の実施結果(利家お宝ミステリーツアー)(進ちよく状況:—)

課 題	前田利家生誕の地としての魅力を、より伝えていくための企画を立案していく必要がある。
実施結果	<ol style="list-style-type: none"> スタンプラリーキャンペーンの実施 「前田利家オリジナル商品登録店」を巡るスタンプラリーキャンペーンを、令和2年12月14日(月)から令和3年2月7日(日)まで実施、市内外から382名が参加した。 利家お宝ミステリーツアーの実施 スタンプラリーキャンペーンの参加者のうち、抽選で10組程度、21名までを招待し、利家公ゆかりの地を巡る企画を予定していたが、緊急事態宣言の発出に伴い中止した。
計画目標	利家お宝ミステリーツアーの実施 1回
実 績	利家お宝ミステリーツアーの実施 0回
総 括	コロナ禍でのマイクロツーリズムとして、身近な場所を巡るスタンプラリーは参加しやすく好評を得たが、バスを使用し長時間同じ空間を共有することとなるミステリーツアーは、感染状況に大きく左右される結果となった。今後は、感染対策の徹底と感染状況に応じて開催方法の変更も含めて、コロナ禍でも実施できるよう検討する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	40	事業名	川を生かしたまちづくり	区分	拡充
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	土木事務所、環境事業所		
趣旨	区名の由来となった中川運河をはじめ、7つの河川が流れる豊かな水辺環境に親しみを持ち、興味や関心を深めるきっかけを提供し、魅力を発見・発信するとともに、区民のふれあいや交流の機会とする。				
課題	それぞれの河川の魅力や特色を効果的に演出し、区民が興味や関心を深めることができる企画とする必要がある。				
事業内容	<p>1 中川運河の魅力発見 感染対策 船上と地上の双方の視点から運河に親しむクルーズとまち歩きを実施する。 [実施時期]令和3年11月(仮)</p> <p>2 庄内川多世代ふれあい事業 感染対策 大学や企業のボート部からなる協議会と協力し、親子を対象としたボート教室を実施する。 [実施時期]令和3年4~6月頃</p> <p>3 戸田川地域ふれあい事業 感染対策 戸田川上流域にて地域住民や企業などとともに大清掃を実施する。 [実施時期]令和3年11月3日(水・祝)</p> <p>4 荒子川の魅力発見【新規事業】 感染対策 桜咲く荒子川沿いを散策するとともに荒子川の歴史を学び、魅力を発見するまち歩きを実施する。 [実施時期]令和3年4月3日(土)(仮)</p>				
計画目標	中川運河、庄内川、戸田川及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回				

2. 令和2年度の実施結果 (進ちよく状況：☆)

課題	中川区の特色である豊かな水辺環境の魅力を、より伝えていくための企画を立案していく必要がある。
実施結果	<p>1 中川運河の魅力発見 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、まち歩きイベントを中止し、代替事業として「中川運河魅力発見マップ」を作成した。</p> <p>2 庄内川の魅力発見 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。</p> <p>3 戸田川の魅力発見 令和3年11月3日(水・祝)に地域住民や企業など112名の参加により、密集・密接を避けるなどの感染対策をとり大清掃を実施した。</p>
計画目標	中川運河、庄内川及び戸田川の魅力発見事業の実施 各1回
実績	中川運河の魅力発見 0回(代替あり)、庄内川の魅力発見 0回 戸田川の魅力発見 1回
総括	コロナ禍において事業を延期し実施方法を模索しながら、感染対策を行い実施できたものや代替事業として行うことができた。 今後も感染状況に応じて代替事業への変更も含めた検討を行っていく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	41	事業名	未来へつなげよう、ものづくりのまち中川	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	これからを担う子どもたちに、中川区の特色であるものづくりの魅力を伝えていくことで、中川区に対する誇りを醸成し、愛着を深める機会とする。				
課題	協力企業と綿密にコミュニケーションをとりながら、事業の趣旨を共有し、ともに実施方法などを検討していく必要がある。				
事業内容	<p>・未来へつなげよう、ものづくりのまち中川の実施 感染対策</p> <p>[実施時期] 令和3年12月下旬(仮)</p> <p>[場 所] 区内のものづくり企業(3社程度)</p> <p>[内 容] 区内のものづくり企業などの協力を得て、親子を対象とした工場見学やものづくり体験を実施する。</p> <p>実施にあたっては、飲食を伴わない企画内容とするなど十分留意する。</p>				
計画目標	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況: ☆)

課題	中川区の特色であるものづくりの魅力を、より伝えていくための企画を立案していく必要がある。
実施結果	当初、小中学校の冬休み期間中となる12月実施を予定していたが、冬休み期間の変更に伴い、春休み期間中となる3月実施に変更した。 しかし、年末年始からの新型コロナウイルス感染症の拡大、さらには緊急事態宣言発出を受け、現地での見学と体験を中止とした。 代替事業として、過去2年間3回の工場見学やものづくり体験の記録を基に、区内のものづくりについて紹介する小冊子「中川区ものづくり大百科」を作成、区内小学校の次年度新4年生に向けて配布した。
計画目標	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 1回
実績	未来のものづくりびと育成プロジェクトの実施 0回(代替あり)
総括	コロナ禍において、実施の可否、実施方法等について、区内企業の意見も聴取しながら検討してきたが、代替事業で実施することとなった。 今後は、実際に見学、体験ができる企画を目指しつつも、感染状況に応じた実施方法の変更を、協力企業とともに検討していく必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	42	事業名	まちの歴史文化を伝える・広める	区分	継続
担当課	地域力推進室、支所区民生活課		関係部署(所)	—	
趣 旨	区内の歴史・文化財・街道などの幅広い魅力を積極的に発信し、ふれあいや交流を図るイベントを実施することで、訪れたいまちをめざすとともに、地域で活動する団体と協働することで、区民とともに郷土愛の醸成を図る。				
課 題	地域活動団体が区内の歴史的魅力を継続的に発信していけるために、効果的な支援を行っていく必要がある。				
事業内容	<p>1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 感染対策</p> <p>(1) 区内見どころのガイドボランティア活動の支援</p> <p>(2) 区内見どころマップ類の刷新等検討</p> <p>(3) 区民まつりにおける区内の魅力発信</p> <p>(4) 区内まち歩きイベントの実施 [実施時期]令和4年2月～3月(仮)</p> <p>2 富田地区のふれあいあるまちづくり 感染対策</p> <p>富田地区ウォーキング大会 [実施時期]令和4年3月(仮)</p>				
計画目標	区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちょく状況：—)

課 題	地域活動団体が、ある一定以上のレベルで区内見どころのガイドを行えるなど区内の歴史的魅力を継続的に発信していけるための適切な支援を行っていく必要がある。				
実施結果	<p>1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業</p> <p>(1) 地域活動団体のガイドボランティア活動に対し、毎月(4月～6月及び2月を除く)ワークショップを開催し、意見交換を行うなどの支援を行った。</p> <p>(2) 「中川区見どころマップ」の内容確認と修正案の作成を地域活動団体のワークショップにおいて実施した。</p> <p>(3) 区民まつりの中止に伴い、区民まつりにおける区内の魅力発信は実施できなかった。</p> <p>(4) 区内まち歩きイベントは緊急事態宣言の発出に伴い中止した。</p> <p>2 富田地区のふれあいあるまちづくり</p> <p>新設される名二環を取り入れたコースを設定し、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、準備を進めてきたが、緊急事態宣言の発出に伴い中止した。</p>				
計画目標	区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回				
実 績	区民まつりにおける区内の魅力発信 0回、区内まち歩きイベント 0回 富田地区ウォーキング大会の実施 0回				
総 括	コロナ禍においてイベントの中止もあったが、地域活動団体のワークショップも開催できない期間があり、活動が停滞してしまった。 今後はイベントのみならず、ワークショップについてもコロナ禍で開催できるような形態を講じて、活動が停滞しないよう支援する必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	43	事業名	ナッピーによるふれあい・啓発活動	区分	拡充
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣旨	中川区マスコットキャラクター「ナッピー」と「ハボン」を活用し、区の取り組みや魅力を効果的にPRしていくとともに、「ナッピー」と「ハボン」の認知度の向上を目指す。				
課題	「ナッピー」、「ハボン」が区の魅力のひとつとなり得るような効果的な演出などの工夫が必要である。				
事業内容	ナッピーを通じた広報を実施することで、区政への関心や親しみを高める。 1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作製 3 「ナッピー」と「ハボン」を活用した広報なごや紙面の作成 4 「ナッピー」のLINEスタンプを活用した啓発活動【新規事業】 5 「ナッピー」のぬいぐるみを活用した啓発活動【新規事業】				
計画目標	ナッピーを活用した啓発活動（広報媒体への掲載を含む） 30回				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆)

課題	「ナッピー」、「ハボン」ともに、その認知度の向上に努めていく必要がある。				
実施結果	1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 コロナ禍での各種イベント中止に伴い、活動の機会が減少し、活用回数は12回にとどまったが、啓発動画作成等への参加など、コロナ禍に対応した活用を行った。 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作製 交通安全をはじめとした各種啓発品として使えるようデザインしたエコバッグや、コロナ禍を意識しマスクケースを作成し、啓発活動はじめ各事業で使える啓発品を作成した。 また、ナッピーLINEスタンプの販売開始に合わせ、スタンプについてもPRできるような啓発品としてシールも作成した。				
計画目標	着ぐるみの活用 30回				
実績	着ぐるみの活用 12回				
総括	交通安全教室等の着ぐるみの活用機会が減った中で、積極的に活用を探り、認知度向上に努めた。 今後も、着ぐるみの活用に加え、ぬいぐるみやLINEスタンプによる啓発や、広報なごや紙面での「ナッピー」、「ハボン」の活用を進める必要がある。				

1. 令和3年度事業内容等

No.	44	事業名	ベジファーマーの育成	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署(所)	—		
趣旨	農家の高齢化や後継者不足により、耕作ができなくなった農地が区内で増えている。今後も高齢化や後継者不足が進み、耕作困難となる農地がより増加していくことが見込まれるため、新たな農業の担い手「ベジファーマー※ ¹ 」を育成するとともに、農地バンク制度※ ² を活用した農地の保全を図る。				
課題	農地の保全を図るため、より多くの新たな農業の担い手を育てる必要がある。				
事業内容	<p>1 ベジファーマーの育成 感染対策</p> <p>年間を通して、講師の指導のもと座学と実習を行い、野菜の栽培技術やノウハウを身に付けた「ベジファーマー」を育成する。講師の指導のもと実践的な農業知識の習得を目指す。</p> <p>受講生や修了生、農家が意見交流をする機会を設けて、農業を通じた区民の交流を促進する。</p> <p>2 農地のあっせん</p> <p>農地バンク制度について講座内で説明をし、制度を周知する。</p> <p>農地バンクを活用している講座修了生に実体験を話してもらう時間をつくり新規就農を身近に感じてもらう機会を提供する。</p> <p>農地バンクへ登録を希望した受講生には、登録農地のあっせんをする。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ベジファーマー育成講座の受講生 9名 ・講座修了者の農地バンク情報登録者 3名 				

※1 ベジファーマー

野菜づくりを通して地産地消と緑豊かなまちづくりに取り組む新たな農業の担い手。

※2 農地バンク制度

農家が管理できなくなった農地を市に登録し、一定の条件を満たす希望者に紹介して貸借を支援する制度。

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：—)

課題	農地の保全を図るため、より多くの新たな農業の担い手を育てる必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ベジファーマー育成講座の受講生 10名 ・講座修了者の農地バンク情報登録者 5名
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ベジファーマー育成講座の受講生 0名 ・講座修了者の農地バンク情報登録者 0名
総括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。今後はコロナ禍でも開催できるよう感染対策を徹底して講座を運営する必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	45	事業名	地域の特産農産物のPR	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署(所)	—		
趣旨	トマトや水耕ねぎ・みつば・レタスなど地域で盛んに生産されている農産物や、中川区発祥の伝統的な農産物(名古屋ちりめんハボタン・野崎白菜)について、区内の学校や農業者、企業等と連携し、広報を行う。				
課題	区内の学校や農業者、企業等と連携し地域の特産農産物のPRを充実させる必要がある。				
事業内容	<p>1 農産物の広報 区内の学校、農業者、企業等と協働して地域の特産農産物のPRを実施する。</p> <p>2 地産地消フェアの開催 感染対策 [実施時期] 令和3年11月6日(土) [場 所] 区役所駐車場(状況によっては変更することがある。) [内 容] 中川区発祥のあいち伝統野菜「野崎白菜」をはじめ、地元の新鮮な農産物の販売を通し都市農業の魅力を伝える企画を実施する。実施にあたっては、広い会場を確保し、来場者の動線を一方方向にするなど感染予防を徹底する。</p> <p>3 名古屋ちりめんハボタンと野崎白菜の周知 感染対策 区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で種から苗を育ててもらうための資材を提供する。 育てたハボタンの苗を学校花壇へ植栽するほか、地産地消フェア等のイベントで区民に配布する。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消フェアの開催 年1回 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 3校 ・野崎白菜栽培校 3校 				

●令和2年度の事業「地域の特産農産物のPR」及び「地産地消フェアの開催」を統合。

2. 令和2年度の実施結果(地域の特産農産物のPR) (進ちよく状況:☆☆)

課題	中川区発祥の伝統的な農産物や地域で盛んに生産されている農産物の魅力を区民に効果的に発信する必要がある。				
実施結果	<p>1 農産物の広報 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地産地消フェアが中止となったが、戸田川緑地管理センターや港農政課と連携して12月5日の「野菜トラック市」(戸田川緑地管理センター主催)において地元の特産農産物のPRを行った。</p> <p>2 名古屋ちりめんハボタンと野崎白菜の周知 区内小・中・特別支援学校に依頼し、授業や部活動等で種から苗を育ててもらうための資材を提供した。 育てたハボタンの苗を学校花壇へ植栽するほか、「野菜トラック市」で来場者に配布した。</p>				
計画目標	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 3校 ・野崎白菜栽培校 3校 				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 1校 ・野崎白菜栽培校 2校 				

総括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小・中・特別支援学校が休校になったこともあり、名古屋ちりめんハボタンと野崎白菜の栽培校は目標数に届かなかったが、生徒の栽培したハボタンの苗を「野菜トラック市」に訪れた来場者に配布することができた。また、栽培に参加した生徒のアンケートで8割以上の生徒が「栽培が楽しかった」、「また栽培したい」と回答しているため、今後も学校と連携した地域の特産農産物のPRに力を入れていく必要がある。
----	--

2. 令和2年度の実施結果（地産地消フェアの開催）（進ちよく状況：☆）

課題	より多くの区民に名古屋市の農業の魅力を伝え、地産地消を身近に感じていただく必要がある。
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地産地消フェアを中止としたが、戸田川緑地管理センターや港農政課と連携し12月5日の「野菜トラック市」（戸田川緑地管理センター主催）を実施した。中川区・港区の農家が野崎白菜など地元の新鮮な農産物の販売を通して、来場者に都市農業に親しむ機会の提供ができた。
計画目標	地産地消フェアの開催 年1回
実績	地産地消フェアの開催 年0回（代替あり）
総括	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地産地消フェアを中止とした。今後、コロナ禍でも地産地消フェアの開催が可能となるよう、感染対策を徹底した会場の設営や当日の運営について準備を進める必要がある。

1. 令和3年度事業内容等

No.	46	事業名	さまざまなメディアを活用した情報発信	区分	拡充
担当課	地域力推進室ほか	関係部署(所)	—		
趣旨	広報なごや区版をはじめ中川区ウェブサイト、SNS及び地域コミュニティ誌などさまざまなメディアを活用し、より多くの方に中川区の魅力を伝えていく。				
課題	紙面やサイト等の構成を、誰もが見やすくわかりやすい構成にすることに努めるなど、魅力の発信力を高めていく必要がある。 また、コロナ禍を意識した情報発信に努める必要がある。				
事業内容	1 広報なごや区版、中川区公式ウェブサイト、SNSによる情報発信 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 3 名古屋市観光コンベンションビューローなどを通じた情報提供【新規事業】 (名古屋コンシェルジュをはじめとした観光情報ツールの活用) 4 なごや歴史探検アプリなどを活用した情報発信【新規事業】				
計画目標	広報なごや区版の閲覧率 65% SNSによる発信件数 70件、各メディアへの情報提供 12件(毎月1件以上)				

2. 令和2年度の実施結果

(進ちよく状況：☆☆)

課題	紙面やサイト等の構成を、誰もが見やすくわかりやすい構成にすることに努めるなど、魅力の発信力を高めていく必要がある。
実施結果	1 広報なごや区版、中川区公式ウェブサイト、SNSによる情報発信 広報なごや区版「ナッピーかわらばん」に関しては、デザイン、配置や文字数を減らすなど見やすくわかりやすい紙面構成に取り組んだ。 中川区公式ウェブサイトやSNSの活用について、イベントなどの中止が相次いだため減少したが、感染対策などの注意喚起を積極的に行いSNSの活用は52件となった。 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 区の事業について、中日ホームニュースをはじめ地域コミュニティ誌への情報提供に加え、各新聞社へも積極的に情報提供を行うことができた。
計画目標	SNSによる発信件数 70件
実績	SNSによる発信件数 52件
総括	広報なごや区版において時期を捉えた記事の作成や、積極的に各メディアへの情報提供を行い、区の魅力発信に努めた。 これまで活用していない情報発信ツールについても活用を検討し、さらに広く発信していけるよう努める必要がある。